

経営比較分析表（令和6年度決算）

群馬県安中市 公立碓氷病院

法適用区分	集種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	23	-	ド 透 訓	救
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
53,790	12,568	第2種該当	-	10：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
99	50	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	149
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般＋療養）
83	28	111

■ 当該病院値（当該値）
— 類似病院平均値（平均値）
【】 令和6年度全国平均

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 （従来の業務・ネットワークを基に）	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

I 地域において担っている役割

安中市唯一の公立病院として、急性期から回復期及び慢性期を経て在宅医療に至るまで、地域において切れ目のない医療の提供を担っている。また、高崎・安中保健医療圏及び富岡保健医療圏との連携を踏まえた救急医療の提供及び病連携や病診連携の強化を図っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率、②医業収支比率、③修正医業収支比率については、人件費及び物価高騰による医業費用の大幅増により、前年度数値より上昇した。
④病床利用率については、入院患者の増に伴い、前年度数値より上昇した。
⑤入院患者1人1日当たり収益及び⑥外来患者1人1日当たり収益については、高額医薬品使用患者の増加に伴い、前年度数値より上昇した。
⑦職員給与費対医業収益比率については、人件費高騰により職員給与費は増加したが、患者増による医業収益も増加したため前年度数値より下降した。
⑧材料費対医業収益比率については、血液疾患専門医療の提供による高額医薬品使用の増及び物価高騰による材料費増に伴い、前年度数値より大幅に上昇した。
⑨累積欠損金比率については、人件費及び物価高騰による医業費用の大幅増により、当期純損失を計上する結果となってしまったため、前年度数値より上昇した。

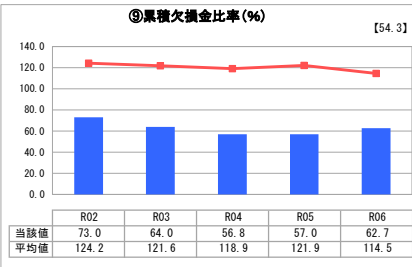
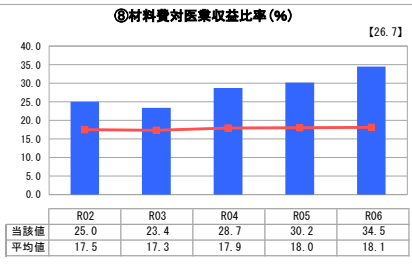
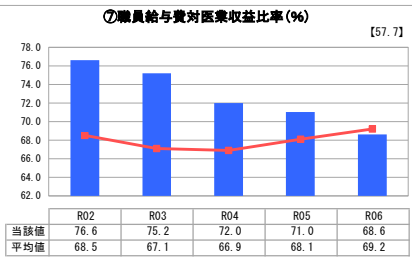
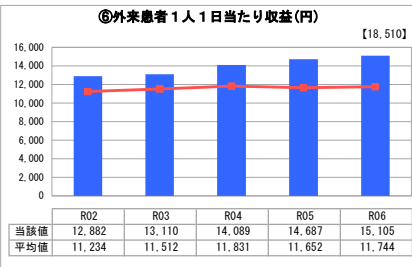
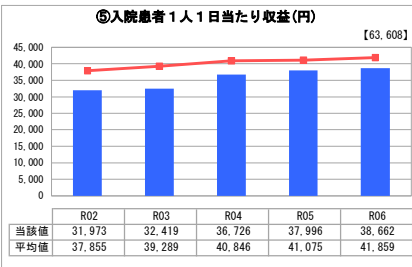
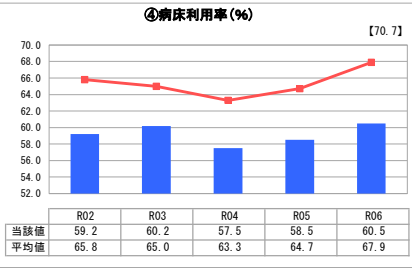
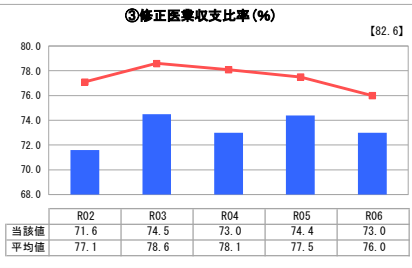
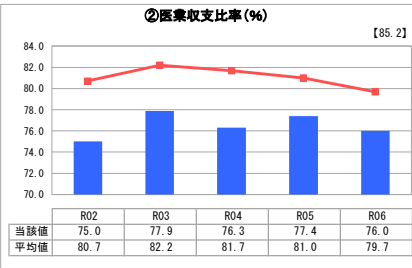
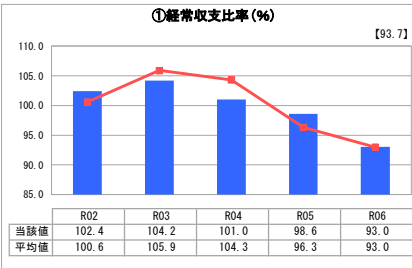
2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は、類似病院平均値を上回っており建物及び器械備品の老朽化が進んでいるため、前年度数値より上昇している。
②器械備品減価償却率は、耐用年数を経過して使用している医療機器が多く、類似病院平均値を上回っている。
③1床当たり有形固定資産については、類似病院平均値を下回っている状況であり適切ではあるが、①及び②の老朽化の進行度を考慮すると、計画的に施設設備更新を行っていく必要がある。

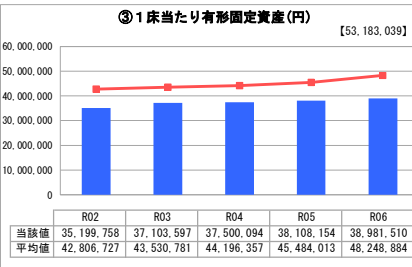
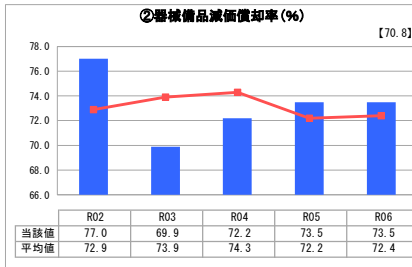
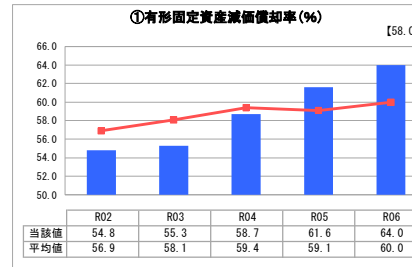
全体総括

群馬県地域医療構想に基づき事業を推進するとともに、人口減少や高齢化等の社会状況を踏まえた効率的な運営を行っていく必要がある。
当年度は、人件費及び物価高騰による医業費用の増大が病院経営を逼迫する状況となり、医業収益は増加しつつも、当期純損失を計上する結果となった。
今後「公立碓氷病院経営強化プラン」に基づき、地域における機能分化を図りつつ、他の医療機関や介護施設等との連携強化をし、増収に向けた取組を強化するとともに、物価高騰により増大した経費をできるだけ削減する取組を実施していく。

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。